

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成22年7月15日(2010.7.15)

【公表番号】特表2010-501191(P2010-501191A)

【公表日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-003

【出願番号】特願2009-525967(P2009-525967)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/525	(2006.01)
C 0 7 K	14/005	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 0 1 K	67/027	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/12	(2006.01)
A 6 1 K	35/74	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	19/00	
C 0 7 K	14/525	
C 0 7 K	14/005	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	B
A 0 1 K	67/027	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	35/12	
A 6 1 K	35/74	A
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	3/00	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	25/00	1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月27日(2010.5.27)

**【手続補正1】**

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

**【請求項1】**

(i) TNF-スーパーファミリーサイトカイン又はそれらの受容体結合ドメイン、  
(ii)構成成分(i)と(ii)との間の可撓性リンカー要素、及び  
(iii)フィブリチン三量体化ドメイン  
を含有する融合タンパク質。

**【請求項2】**

構成成分(i)が、CD95L、TRAIL、TNF、またはそれらの受容体結合ドメインから選択される、請求項1に記載の融合タンパク質。

**【請求項3】**

構成成分(i)が、  
(a) CD95Lもしくはそれらの受容体結合ドメイン、又は  
(b) TRAILもしくはそれらの受容体結合ドメイン  
である、請求項2に記載の融合タンパク質。

**【請求項4】**

構成成分(i)が、ヒトCD95L(配列番号30)の142～281もしくは144～281のアミノ酸、又はヒトTRAIL(配列番号34)の116～281、118～281もしくは120～281のアミノ酸を含有する、請求項3に記載の融合タンパク質。

**【請求項5】**

構成成分(ii)が、5～20のアミノ酸の長さ、特に6、9、12、15又は18のアミノ酸の長さを有する、請求項1から4までのいずれか1項に記載の融合タンパク質。

**【請求項6】**

構成成分(ii)が、グリシン/セリンリンカーであり、有利には構成成分(ii)が、アミノ酸配列(GSS)<sub>a</sub>(SSG)<sub>b</sub>(GS)<sub>c</sub>(S)<sub>d</sub>を有し、その際a、b、c、dが、それぞれ0、1、2、3、4、又は5である、請求項5に記載の融合タンパク質。

**【請求項7】**

構成成分(iii)が、バクテリオファージフィブリチン三量体化ドメインである、請求項1から6までのいずれか1項に記載の融合タンパク質。

**【請求項8】**

構成成分(iii)が、  
(a)バクテリオファージT4フィブリチン三量体化ドメイン、又は  
(b)バクテリオファージRB69フィブリチン三量体化ドメイン  
である、請求項7に記載の融合タンパク質。

**【請求項9】**

請求項8(a)の構成成分(iii)が、アミノ酸配列(G)YIP E A P R D G Q A Y V R K D G E W V L L S T F L(配列番号23の458～484又は459～484のアミノ酸)、もしくはそれに対して少なくとも70%の同一性を有する配列を含有し、又は請求項8(b)の構成成分(iii)が、アミノ酸配列G)Y I E D A P S D G K F Y V R K D G A W V E L P T A(配列番号24の455～480又は456～480のアミノ酸)、もしくはそれに対して少なくとも70%の同一性を有する配列を含有する、請求項8に記載の融合タンパク質。

**【請求項10】**

構成成分(i)が、構成成分(iii)のN-末端に位置し、又は構成成分(iii)が、構成成分(i)のN-末端に位置する、請求項1から9までのいずれか1項に記載の

融合タンパク質。

【請求項 1 1】

プロテアーゼ開裂部位を含有してよい、N-末端シグナルペプチドドメインを付加的に含有し、かつ／又は認識／精製ドメインを有する及び／もしくは該認識／精製ドメインに連結してよい、C-末端可撓性成分を付加的に含有する、請求項1から10までのいずれか1項に記載の融合タンパク質。

【請求項 1 2】

三量体複合体として又は三量体複合体のオリゴマーとして存在し、有利には該複合体が、3個の同一の融合タンパク質からなる、請求項1から11までのいずれか1項に記載の融合タンパク質。

【請求項 1 3】

請求項1から11までのいずれか1項に記載の融合タンパク質をコードし、有利には配列番号2、配列番号21、又は配列番号22の配列を含む核酸分子。

【請求項 1 4】

発現調節配列と作動的に連結する、請求項13に記載の核酸タンパク質。

【請求項 1 5】

ベクター上に位置する、請求項13又は14に記載の核酸タンパク質。

【請求項 1 6】

請求項13から15までのいずれか1項に記載の核酸分子で形質転換又は形質移入された細胞。

【請求項 1 7】

原核細胞、又は真核細胞、有利には、哺乳動物細胞、及びより有利にはヒト細胞である、請求項16に記載の細胞。

【請求項 1 8】

請求項13から15までのいずれか1項に記載の核酸分子で形質転換又は形質移入された非ヒト生物。

【請求項 1 9】

活性剤として、請求項1から12までのいずれか1項に記載の融合タンパク質、もしくは請求項13から15までのいずれか1項に記載の核酸分子、又は請求項16もしくは17に記載の細胞を含有する、医薬組成物。

【請求項 2 0】

活性剤として、請求項1から12までのいずれか1項に記載の融合タンパク質、もしくは請求項13から15までのいずれか1項に記載の核酸分子、又は請求項16もしくは17に記載の細胞を含有する、診断組成物。

【請求項 2 1】

療法における使用のための、請求項1から12までのいずれか1項に記載の融合タンパク質、請求項13から15までのいずれか1項に記載の核酸分子、又は請求項16もしくは17に記載の細胞。

【請求項 2 2】

TNFサイトカインの機能不全によって生じる、TNFサイトカインの機能不全に関連する、及び／又はTNFサイトカインの機能不全に附隨する疾患、特に腫瘍のような増殖性疾患、例えば充実性腫瘍又はリンパ腺腫瘍；感染症；炎症性疾患；代謝疾患；自己免疫異常、例えばリウマチ及び／又は関節疾患；変性疾患、例えば多発性硬化症のような神経組織変性疾患；アポトーシス関連性疾患、又は移植拒絶反応の予防及び／又は治療における医薬組成物の製造のための、請求項1から12までのいずれか1項に記載の融合タンパク質、もしくは請求項13から15までのいずれか1項に記載の核酸分子、又は請求項16もしくは17に記載の細胞の使用。